

お知らせ

平成22年3月12日

同時資料提供先

- ・岡山県政記者クラブ
- ・岡山市政記者クラブ

第3回 百間川河口水門予備ゲート脱落原因 調査委員会の結果について

第3回 百間川河口水門予備ゲート脱落原因調査委員会の結果について、別紙のとおりお知らせします。

国土交通省 岡山河川事務所

問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所

電話番号 086-223-5101 (代表)

広報総括 副所長(技術) 佐藤 敦司 (内線204)

担当 管理第一課長 長畑 利彦 (内線331)

※ 百間川河口水門予備ゲート脱落に関する情報を、岡山河川事務所のホームページに掲載しています。

『岡山河川事務所ホームページ <http://www.cgr.mlit.go.jp/okakawa/>』

「第3回 百間川河口水門

予備ゲート脱落原因調査委員会」結果について

<委員長のコメント>

今回の予備ゲート脱落については、事故発生からこれまで3回の委員会により調査・検討してきた。

その結果、右岸固定金物の腐食・老朽化が予想以上に進行していることが確認でき、この箇所から脱落したことが考えられる。

〔全国には、百間川河口水門予備ゲートと類似型式のゲートが他にもある。再び同じような事案が繰り返されないよう、今回の事案から得られた教訓を全国に発信できればと考える。〕

<議事概要>

○ 第2回委員会の指摘事項

- ・ 第2回委員会議事録に従い、指摘事項に対する対応内容の説明を実施した。

○ 部品調査結果について

- ・ 前回委員会にて報告出来ていなかった右岸固定金物及び左右岸ボラードを中心に実施した調査内容及び調査結果について、説明を行った。

○ 強度照査結果について

- ・ 部品調査結果に基づいた予備ゲートの強度照査結果及び強度照査結果から推定した脱落の過程について説明した。

○ 事故原因のまとめ

- ・ 脱落発生メカニズムについては、電子顕微鏡、非破壊検査、構造計算等あらゆる角度から検証したところ、右岸下部固定金物の腐食・老朽化が予想以上に進行していることが明らかになり、この箇所から脱落したことが考えられる。

○ 再発防止策のとりまとめ

- ・ 予備ゲートの設置については、荷重が均等になるよう固定金物4点による固定方法を確実にを行うとともに予備ゲートの点検については、打音検査、非破壊検査などの点検項目を追加し、維持管理を強化すること。

○ 委員会とりまとめ

- ・ 別紙のとおりとなった。

☆委員会の議事録については、追って、ホームページに掲載します。

「百間川河口水門予備ゲート脱落原因調査委員会」結果について

(1) 予備ゲートの脱落原因について

脱落発生メカニズムについては、電子顕微鏡、非破壊検査、構造計算等あらゆる角度から検証したところ、右岸下部固定金物の腐食・老朽化が予想以上に進行していることが明らかになり、この箇所から脱落したことが考えられる。

河口水門の建設から相当年数を経過していることから、予備ゲートを使用する際には、応力計算結果のみで安易に使用することは避けなければならない。

したがって、固定箇所の応力計算を行うのみならず各箇所の状況をよく点検し使用すること。

(2) 予備ゲートの復旧について

予備ゲートの復旧については、安全性、施工性、経済性を考慮し、脱落した固定金物をもとの位置に復旧させること。

(3) 予備ゲートの点検及び脱落再発防止について

予備ゲートの設置については、荷重が均等になるよう固定金物4点による固定方法に改めるとともに予備ゲートの点検については、非破壊検査などの点検項目を追加し、維持管理を強化すること。